

アイヌ民族と女性の権利 — 民族の誇りを取り戻すアイヌ女性の生き方から考える —

入場無料 ※手話通訳あり

倉吉会場 9月7日(土) 13:00~16:30

鳥取会場 9月8日(日) 13:00~16:30

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

とりぎん文化会館 第1会議室

第1部 映画上映 13:00~15:15

第2部 講演：映画製作・アイヌ文化について 15:25~16:30

私たちには何も許されなかった



カムイのうた

SONGS of KAMUI

吉田美月喜 望月歩 島田歌穂 清水美砂 加藤雅也

天宮良 伊藤洋三郎 阿部進之介 葉月 清水伸 加藤憲史郎 茅本梨々華 ハスタ功次郎 江守沙矢 小柳友貴美

監督・脚本 = 菅原浩志

プロデューサー = 作間清子 音楽 = 佐藤徹彦 撮影監督 = 上野彰吾 美術 = 長寿恵 録音 = 小川武 編集・合成 = 時任賢三 助監督 = 桑原昌英

主題歌 = 島田歌穂「カムイのうた」 主題歌作曲 = 島健 アイヌ語・文化監修 = 藤村久和 配給 = トリプルアップ 宣伝 = MUSA

協賛 / 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社ホクリク 株式会社モンベル 第一ガス株式会社 茨城県 高山市 高山市観光株式会社 株式会社盛永 株式会社北海道新聞社 関川風物舎 SATO 社会保険労務士法人

製作 / シネノイズ 製作賛助 / 写真文化首都「写真の町」北海道東川町



忘れてはいけない壮絶な民族の史実が、胸を揺さぶる。

PG12

映倫



語り継がねばならない真実の物語 何一つ許されない、差別と迫害に満ちた 民族の史実が、胸を揺さぶる！

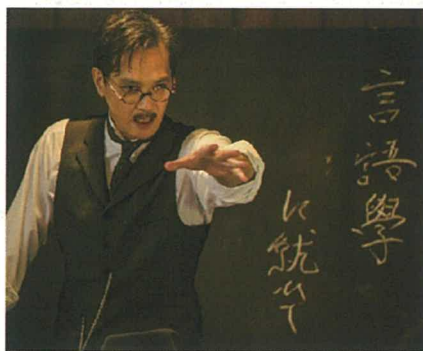
全てに神が宿ると信じ、北海道の厳しくも豊かな自然と共存して生きてきたアイヌ民族。日本の北方エリアにおける先住民として独自の文化を築いてきたアイヌ民族は、やがて和人(大和民族)によって差別と迫害の日々を余儀なくされました。

同じ民族ではないという理由だけで――。

本作は、1903年に生まれた知里幸恵という実在の人物をモデルに描いた、アイヌ民族の壮絶な真実の物語です。

彼女の功績は、文字を持たずユーカラという叙事詩で民族の歴史を詠い継いできたアイヌの文化を初めて美しい日本語に訳したとして今も語り継がれています。

決して風化させてはいけない後世に残る感動の作品が誕生しました。



主題歌「カムイのうた」

- ◆ 歌 —— 島田歌穂
- ◆ 作詞 —— 菅原浩志
- ◆ 作曲 —— 島健



島田歌穂

アイヌの心には、カムイ(神)が宿る。

学業優秀なテルは女学校への進学を希望し、優秀な成績を残すのだが、アイヌというだけで結果は不合格。その後、大正6年(1917年)、アイヌとして初めて女子職業学校に入学したが土人と呼ばれ理不尽な差別といじめを受ける。ある日、東京から列車を乗り継ぎアイヌ語研究の第一人者である兼田教授がテルの叔母イヌイエマツを訊ねてやって来る。アイヌの叙事詩であるユーカラを聞きにきたのだ。叔母のユーカラに熱心に耳を傾ける教授が言った。「アイヌ民族であることを誇りに思ってください。あなた方は世界に類をみない唯一無二の民族だ」教授の言葉に強く心を打たれたテルは、やがて教授の強い勧めでユーカラを文字で残すことに没頭していく。そしてアイヌ語を日本語に翻訳していく出来栄の素晴らしさから、教授のいる東京で本格的に頑張ることに。同じアイヌの青年・三四と叔母に見送られ東京へと向かうテルだったが、この時、再び北海道の地を踏むことが叶わない運命であることを知る由もなかった…。

コミック情報「カムイのうた」

- ◆ 漫画 —— なかはらかぜ
- ◆ 原作 —— 菅原浩志
- ◆ 発行者 —— (株)春陽堂書店



主催：鳥取県、アイヌの人たちと共に歩むとつとりの会 問い合わせ：090-1685-1478(ミタニ)

後援：北海道東川町、アイヌ民族文化財団、鳥取市、倉吉市、岩美町、智頭町、八頭町、若桜町、琴浦町、北栄町、三朝町、湯梨浜町、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会、倉吉市教育委員会、岩美町教育委員会、智頭町教育委員会、八頭町教育委員会、若桜町教育委員会、琴浦町教育委員会、北栄町教育委員会、三朝町教育委員会、湯梨浜町教育委員会、国立大学法人鳥取大学、公立鳥取環境大学、学校法人藤田学院鳥取短期大学・鳥取看護大学・認定こども園鳥取短期大学付属こども園、公益社団法人鳥取県人権文化センター、鳥取県人権教育推進協議会、部落解放同盟鳥取県連合会、公益財団法人鳥取市人権情報センター、倉吉市人権教育研究会、自治労鳥取県本部、鳥取県教職員組合、鳥取県高等学校教職員組合、とっとり多文化共生市民の会(倉吉)、米子市政研究会、子どもの人権広場、ペカンパ〜鳥取アイヌ文化を学ぶ会〜、新日本海新聞社、山陰中央新報社、朝日新聞鳥取総局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、日本海テレビ、BSS山陰放送、TSK山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、エフエム山陰、日本海ケーブルネットワーク、鳥取中央有線放送(株) <順不同>